

# 豊田市都心地区空間デザインをかんがえる 市民ワークショップ（キックオフ）

---

平成 28 年 5 月 15 日（日）10 時 00 分～12 時 45 分  
とよた参合館 6 階多目的ホール

座 長：星野裕司（熊本大学大学院 准教授）

参 加 者：44 人 ※つくるチーム：7 人、つかうチーム：3 人

配布資料：あそべるとよたプロジェクト、駅前空間デザインプロポーザル提案「カスタマイズとよた」

## 開催内容

### 1. あそべるとよたプロジェクト活動報告

あそべるとよたプロジェクトについて説明（配布資料参照）

### 2. 駅前空間デザインプロポーザル提案発表

駅前空間デザインプロポーザル提案について説明（配布資料参照）

### 3. ワークショップ【豊田らしさとは】

6 グループに分かれ、テーブルディスカッション方式にて、とよたの街にどんな場所が必要かを議論

### 4. グループ発表（多くのグループで話題となった内容・特徴的な内容）

- ・矢作川や山、美術館などまちの魅力は多く点在しているが連動していない。
- ・豊田の人は少しの距離でも車で移動する文化があり、歩かない。
- ・まちが歩きにくい構造になっている。
- ・裏通りなど、駅前でない場所にポテンシャルがある。まちの奥行き。
- ・高齢化も問題であり、大人がまちに来るきっかけが必要。知的好奇心を刺激するまちを目指す。
- ・フリーパーキング（3時間無料駐車）が車利用を促進しており、無料時間内に帰宅するきっかけとなり、人がまちに滞留しなくなっているのでは。
- ・豊田人の気質はまじめで予定外のことはしない傾向にある。そのため、看板などで「使用可」と表示しないと使えないのでは。
- ・高校が他のまちより多いところで、高校生が多い。
- ・男女の人口比は男性が多いまち。
- ・これまで中心市街地という考えはこれまでのまちづくりで何度も出ているがうまくいっていない。駅前を無理に中心にする必要はなく、中心市街地という考えの転換が必要では。